

# 継続圃場

※ 輸作のため、対象作物が前年度と異なる場合、新規圃場のカルテ様式に記入してください。

## 圃場カルテ (果菜類)

管理コード		土壌採取日	20 / /
対象作物名		生産団体/生産者	
		圃場名・番号	

### 1. 栽培管理における前年作との変更点 (前年作との変更点について該当するものにレ点を記入)

変更要素	作土深	排水条件	堆肥	土壌改良資材	肥料	土壌消毒	その他	
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
変更理由	収量向上	生理障害の抑制	土壌病害虫の抑制	その他				
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>					

### 2. 栽培概要 (前年作との変更点について記入)

栽培形態	1 ハウス, 2 露地	品種名			
栽培期間	20 / / - 20 / /				
排水条件	1 排水過多, 2 適切, 3 排水不良				
堆肥	1 無施用, 2 毎年施用, 3 時々施用		[2][3]の実施期間	年前から	年/1回
種類	1 牛ふん, 2 豚ふん, 3 鶏ふん		その他		
施用量	t/10a	施用日	20 / /		
土壌改良資材	1 苦土石灰, 2 石灰窒素		その他		
施用量	kg/10a	施用日	20 / /		
肥料			N-P-K (%)	日付/施用量(kg/10a)	
基肥	肥料名			20 / /	kg/10a
追肥	肥料名			20 / /	kg/10a
追肥	肥料名			20 / /	kg/10a
土壌消毒	1 なし, 2 あり	薬剤名		太陽熱消毒の有無	
		その他		実施月	20 /

### 3. 本年作の収量、品質等の結果 (「前年作との比較」は該当するものの番号を左端の欄に記入)

↓ 前年作との比較	1 改善, 2 同等程度, 3 悪化		
収量	地域(または生産組織)の平均との比較(平均を100とした場合) 1 80未満, 2 80~100, 3 100, 4 100~120, 5 120以上	実測値	t/10a
樹勢の特徴	1 旺盛すぎる, 2 適切, 3 悪い		
生理障害	1 なし, 2 果実の異常, 3 葉/茎の異常	症状、障害名	
土壌病害虫	1 なし, 2 青枯病, 3 ホモブシス根腐病, 4 疫病, 5 つる割病, 6 半身萎凋病, 7 ネコブセンチュウ, 8 ネグサレセンチュウ	その他	

### 4. 特に重点を置いた改善対策とその結果の感想 (または収量・品質に特に影響した要因)

# 継続圃場

※ 輪作のため、対象作物が前年度と異なる場合、新規圃場のカルテ様式に記入してください。

## 圃場カルテ (果菜類)

管理コード	1 2 3 4 5 6 7 8	土壌採取日	20 21 / 11 / 30
対象作物名	トマト	生産団体/生産者	0000
		圃場名・番号	00-1

### 1. 栽培管理における前年作との変更点 (前年作との変更点について該当するものにレ点を記入)

変更要素	作土深	排水条件	堆肥	土壌改良資材	肥料	土壌消毒	その他	
	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
変更理由	収量向上	生理障害の抑制	土壌病害虫の抑制	その他	湿害の回避			
	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>				

### 2. 栽培概要 (前年作との変更点について記入)

栽培形態	1 ハウス, 2 露地	品種名	
栽培期間	20 / / - 20 / /		
排水条件	1 排水過多, 2 適切, 3 排水不良		2
堆肥	1 無施用, 2 毎年施用, 3 時々施用	[2][3]の実施期間	年前から / 年/1回
種類	1 牛ふん, 2 豚ふん, 3 鶏ふん	その他	
施用量	t/10a	施用日	20 / /
土壌改良資材	1 苦土石灰, 2 石灰窒素	その他	
施用量	kg/10a	施用日	20 / /
肥料		N-P-K (%)	日付/施用量(kg/10a)
基肥	肥料名		20 / / kg/10a
追肥	肥料名		20 / / kg/10a
追肥	肥料名		20 / / kg/10a
土壌消毒	1 なし, 2 あり	薬剤名	太陽熱消毒の有無
		その他	実施月 20 /

### 3. 本年作の収量、品質等の結果 (「前年作との比較」は該当するものの番号を左端の欄に記入)

↓ 前年作との比較	1 改善, 2 同等程度, 3 悪化		
1	収量	地域(または生産組織)の平均との比較(平均を100とした場合) 1 80未満, 2 80~100, 3 100, 4 100~120, 5 120以上	3 実測値 10 t/10a
1	樹勢の特徴	1 旺盛すぎる, 2 適切, 3 悪い	2
2	生理障害	1 なし, 2 果実の異常, 3 葉/茎の異常	1 症状、障害名
2	土壌病害虫	1 なし, 2 青枯病, 3 ホモブシス根腐病, 4 疫病, 5 つる割病, 6 半身萎凋病, 7 ネコブセンチュウ, 8 ネグサレセンチュウ	1 その他

### 4. 特に重点を置いた改善対策とその結果の感想 (または収量・品質に特に影響した要因)

プラソイラによる耕盤破碎で作土層が深くなり、湿害がなくなって収量が増加した。